7月20日　今日の花は「ノウゼンカズラ」

2017年7月20日

東京地方の梅雨明け宣言が7月19日（水）に出されました。これから夏本番、7月20日～9月20日頃まで2か月間、蒸暑い日が続きます。今年は梅雨期間中も雨が少なく6月がすでに高温で、夏本番が前倒しで来た感じです。

7月、8月と暑さの厳しい時期に元気に咲いてくれるのが「ノウゼンカズラ」、***7月20日の花は「ノウゼンカズラ」、花言葉は「名誉」***。つる性の落葉樹。枝や幹から気根と呼ばれる根を出し、それが壁やフェンス、他の樹木などにへばりついて体を支えて上に伸びていきます。非常に生育旺盛で丈夫なので公園などに植えられます。耐寒性はあまりないので、寒冷地には不向きです。
寿命が長いのも特色。病気・害虫はなく栽培は簡単。

ノウゼンカズラは暑い盛りに、ひときわ目を***引く濃いオレンジ色***の花を咲かせます。古くから庭木として親しまれてきた、つる植物です。気根を出して木や壁などを這い登り、夏の間じゅう、花を咲かせます。
鼻の期間が長く、しかも栽培が簡単な庭木です。

中国原産で10世紀の平安時代に日本に入ってきました。

石川県金沢市の玉泉園には、豊臣秀吉が朝鮮出兵の折に持ち帰ったとされる、樹齢400年になるノウゼンカズラの古木があります。古来より寺社などで栽培され、近年は庭園樹として重要な位置を占めています。栽培は容易で、濃紅、黄などの花色の品種が流通しています。

街中で見かける「ノウゼンカズラ」の大半はオレンジ色ですが、薄いピンク色の上品なものもあります。

ピンクノウゼンカズラは、南アフリカ原産で。花色がとてもやさしい色合いをしていますので人気があります。

見かけることの多いノウゼンカズラは中国原産で、属が異なっています。

耐寒性がやや弱いのが残念ですが、庭植えできなくても大きめの鉢に植えて栽培できます。

（関東地方以西基準）

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
開花期							■	■				
植えつけ、植え替え			■	■								
肥料（庭植え）		■	■	■	■							
剪定		■	■									